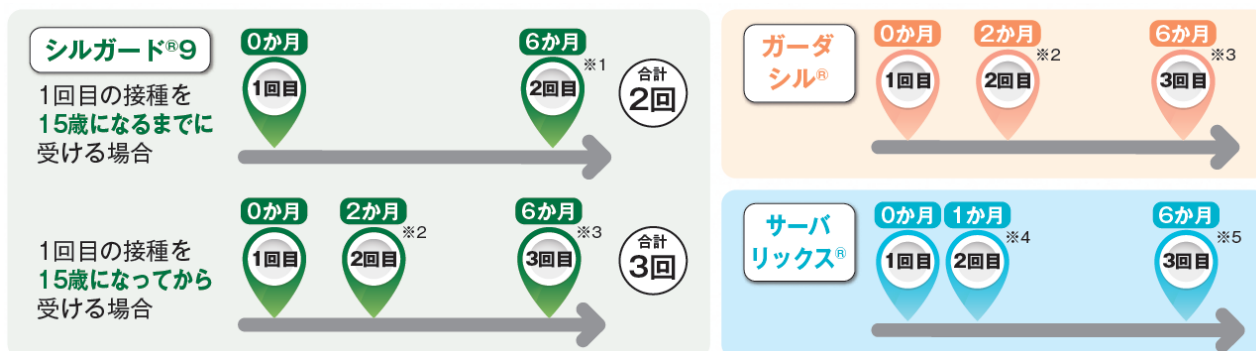


【接種スケジュール】

- 3種類のワクチンのうち、いずれかを選択し2回または3回接種してください。
※9価ワクチンのみ15歳未満で接種開始する場合は、原則2回接種です。
- 接種が完了するには、1回目の接種から約6か月間かかります。
- できるだけ一般的な接種スケジュールで接種してください。

ワクチンの種類	接種回数	防ぐことのできる HPV の種類
2価 HPV ワクチン (サーバリックス)	3回	HPV16、18型
4価 HPV ワクチン (ガーダシル)	3回	HPV16、18、6、11型
9価 HPV ワクチン (シルガード9)	3回	HPV16、18、31、33、45、52、58、6、11型

➤ 一般的な接種スケジュール



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。

- ※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5か月以上あけます。5か月未満である場合、3回目の接種が必要になります。
- ※2・3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上 (※2)、3回目は2回目から3か月以上 (※3) あけます。
- ※4・5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1か月後と6か月後にできない場合、2回目は1回目から1か月以上 (※4)、3回目は1回目から5か月以上、2回目から2か月半以上 (※5) あけます。

※接種間隔の1か月後とは、4週間後のことではありません。例えば、2月4日に接種した場合、1か月後とは3月4日から接種できます。2か月後とは4月4日から接種できます。

➤ 過去に 1 回または 2 回接種後に接種を中断されている方の接種について

- 接種を初回からやり直すことなく、残りの回数の接種（2、3回目又は3回目）を行ってください。
その際は過去に接種歴のあるワクチンと同一製剤で接種を完了してください。過去に接種したワクチンの種類が不明の場合は、ワクチンの種類等について医師とよく相談した上で接種をしてください。
※仮に交互相種となった場合も、安全性に関する大きな懸念は示されていません。

➤ 2 価・4 価 HPV ワクチンと 9 価 HPV ワクチンとの交互相種について

- HPV ワクチンの接種は、原則、同じ種類のワクチンで実施しますが、2 価または 4 価 HPV ワクチンで規定の回数の一部を完了し、9 価 HPV ワクチンで残りの回数の接種を行う交互相種についても、実施して差し支えないとされています。また、現時点において、交互相種における免疫原性や安全性に関する懸念は報告されていません。接種にあたっては、医師と十分相談のうえでご判断ください。
- 2 価または 4 価 HPV ワクチンで接種を開始し、定期接種として 9 価 HPV ワクチンで接種を完了する場合は、9 価 HPV ワクチンの接種方法に合わせ、3 回接種します。1 回目と 2 回目の間隔を、1 か月以上、2 回目と 3 回目の間隔を 3 か月以上あけて接種してください。

➤ 新高校1年生相当の方へ

高校1年生相当の方は、接種期間が年度末（3月31日）までです。通常全3回の接種の完了までには約6か月かかります。年度内に接種を完了するには1回目接種を9月30日までに開始してください。ただし、やむを得ない事情がある場合、より短い期間で接種することも可能です。